



**ボッシュ株式会社** 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>  
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

**0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

\* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161  
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用  
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 5GD (2019.09)

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

コードレスハンマードリル  
**GBH 18V-26 / GBH 18V-26H 型**  
**GBH 18V-26F / GBH 18V-26FH 型**



**取扱説明書**

このたびは、弊社コードレスハンマードリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



## 目 次

●一般安全規則	2
●安全上のご注意	6
警告表示の区分	6
コードレス電動工具全般についての注意事項	6
コードレスハンマードリルについての注意事項	13
●バッテリーを長持ちさせるために	18
●リサイクルのために	19
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	19
コードレス電動工具(本体)の廃棄について	19
●本製品について	20
用途	20
各部の名称	21
仕様	22
標準付属品	23
●使い方	24
バッテリーを準備する	24
作業前の準備をする	26
作業する	36
●困ったときは	42
故障かな?と思ったら	42
修理を依頼するときは	43
●お手入れと保管	44
作業前点検	44
使用後のお手入れ	44
保管	45

安

全

つ  
バ  
ッ  
テ  
リ  
ー  
に  
て

の  
リ  
サ  
イ  
ク  
ル  
に

つ  
本  
製  
品  
に

使  
い  
方

困  
っ  
た  
と  
き  
は

保  
お  
手  
入  
れ  
と  
管

## 一般安全規則

安  
全

### 警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。  
下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。  
下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示します。  
次の事項を順守してください。

#### a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。  
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

#### b) 電氣的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。  
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。  
身体が接触すると、感電する危険が増大します。  
屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。電動工具に水が入ると、感電する危険が増大します。

- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。
- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。

安

全

### c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関する危険を低減することができます。



#### d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱っていない人に渡すと、危険です。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各部品の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。  
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

#### e) コードレス電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 2) 弊社が指定した充電器だけで再充電してください。バッテリーに適さない充電器を用いると、火災の危険があります。

- 3) 電動工具は、指定された専用のバッテリーのみを使用してください。指定外のバッテリーを使用すると、人的被害および火災をもたらす恐れがあります。
- 4) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、バッテリー端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災をもたらす恐れがあります。
- 5) 過酷な条件のもとでは、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

安  
全

#### f) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

## 安全上のご注意

安  
全

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

### 警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

-  **危険** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
-  **警告** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
-  **注意** ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたコードレスハンマードリルには、当てはまらない項目も含まれています。

 危 険

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

安  
全

工具体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

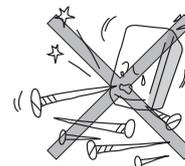


3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

8. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。  
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。

◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

 警告

1. 正しく充電してください。

- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ コードレス電動工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、



4. 保護めがねを使用してください。

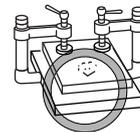
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス電動工具を使用できます。



7. 次の場合は、コードレス電動工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

13. 充電機以外のバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。

安

全

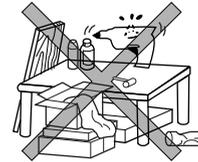
 **注 意**

安

全

**1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。**

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



**2. 子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人には、絶対に使用させないでください。**

子供や知識のない人が使用すると、事故の原因になります。

◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

**3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。**

◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

◆ コードレス電動工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

**4. 無理して使用しないでください。**

◆ 安全に能率よく作業するために、コードレス電動工具の能力に合った速さで作業してください。

◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

**5. 作業に合ったコードレス電動工具を使用してください。**

◆ 小型のコードレス電動工具やアタッチメントは、大型のコードレス電動工具で行う作業には使用しないでください。

◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

**6. きちんとした服装で作業してください。**

◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。

◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

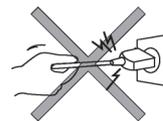


## 7. コードレス電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

## 8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



## 9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



## 10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

## 11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



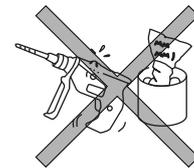
## 12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ コードレス電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



## 13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。  
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないコードレス電動工具は、使用しないでください。



## 14. コードレス電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はコードレス電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ コードレス電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

## コードレスハンマードリルについての注意事項

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、コードレスハンマードリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

安

全

### 警告

1. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
  - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、ハンマードリル本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
2. 作業する個所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
  - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。
3. 保護具を着用してください。必ず保護めがねをかけてください。
  - ◆ 防じんマスク、滑り止めのついた安全靴、ヘルメット、防音保護具などの適切な活用はけがの発生を低減します。
4. ネジなどが埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。
  - ◆ ネジなどが通電している配線に接触した場合、電動工具の絶縁されていない金属部にも通電し、作業者が感電する恐れがあります。
5. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。電動工具に集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
6. 使用中に振り回されないよう、ハンマードリル本体にしっかりとサイドハンドルを取り付け、本体を確実に保持し作業してください。
  - ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。



7. 使用中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。

◆ けがの原因になります。

8. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、ハンマードリル本体が冷めるための時間を設けてください。

◆ 複数個による連続作業は、本体に支障をきたすばかりでなく、本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

9. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。

特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。

◆ 発煙・発火の原因になります。

10. 使用中にハンマードリルの調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「電子無段変速スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

11. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、先端工具やハンマードリル本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

12. 石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

13. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。

蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。

◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。



14. バッテリーを乱暴に扱うと液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
  - ◆ バッテリーから漏れた液は炎症や火傷をもたらす恐れがあります。
15. 電動工具を雨や濡れた環境にさらさないでください。
  - ◆ 電動工具の中に水が混入すると感電する恐れがあります。
16. 調整を行う場合や付属品の交換を行う場合、あるいは工具を保管する場合は、バッテリーを取り外してください。
  - ◆ このような事前の安全対策は電動工具が不意に始動する危険性を低減します。
17. 使用しないときは、子供の手の届かない安全な場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いや手順に不慣れな人には操作させないでください。
  - ◆ 教育を受けていないひとの操作は大変危険です。
18. ハンマードリル本体を、熱源から守ってください。例えば、強い日差しの下に長時間さらしたり、火気、水気、湿気のある場所の近くに置いたりしないでください。
  - ◆ 破裂する恐れがあります。
19. バッテリーを開けないでください。
  - ◆ 短絡の恐れがあります。
20. 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。必ずスイッチが“安全ロック”になっているか確かめた上で、バッテリーを取り付けたり、工具を持ち上げたり、移動したりしてください。
  - ◆ “安全ロック”になっていないと事故の原因になります。



21. バッテリーは、釘やドライバーなど、尖ったものや外からの強い力で傷つく場合があります。

- ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。

22. 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鋳物や金属への作業から発生する粉じんは、健康に悪影響を与える恐れがあります。作業者や見学者が粉じんを触ったり吸い込んだりすると、アレルギー反応、あるいは呼吸器感染症を引き起こす可能性があります。

特に樫材やブナ材から出る粉じん、木材処理添加物（クロム酸、防腐剤）は発がん性があると考えられています。

アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。

- ・ できる限り、材料に合った吸じん装置を使用してください。
  - ・ 作業場所の換気に注意してください。
  - ・ D S 2クラス以上のフィルター付き防じんマスクの着用をお勧めします。
- ◆ 作業場で粉じんの堆積は避けてください。容易に発火する恐れがあります。

 注 意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業直後の先端工具や切り粉などは高温になっていますので、触れないでください。
  - ◆ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
  - ◆ 材料やハンマードリル本体などを落としたとき、事故の原因になります。
5. 細径のビットは折れやすいので注意してください。
  - ◆ 飛散して、けがの原因になります。
6. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ◆ 事故の原因になります。
7. 保護めがねを着用してください。  
コンクリートに穴あけを開始するとき、または軽破つりをするとき、コンクリートの小片が飛び散ることがあります。  
コンクリートに細径の穴をあける際、急に切り粉が勢いよく噴き出すことがあります。
  - ◆ けがの危険性を低減できます。
8. 安全のため、ヘルメットおよび安全靴、騒音からの保護のため、耳栓をしてください。

安

全

## バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間（6か月以上）使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

つ  
バ  
ッ  
テ  
リ  
ー  
に  
て

## リサイクルのために

### 使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポツシユは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポツシユ電動工具取扱店、ポツシユ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

のリ  
サイ  
クル  
に  
ル

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出ください。

### コードレス電動工具（本体）の廃棄について

バッテリー以外のコードレス電動工具本体および付属品（充電器など）の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

## 本製品について

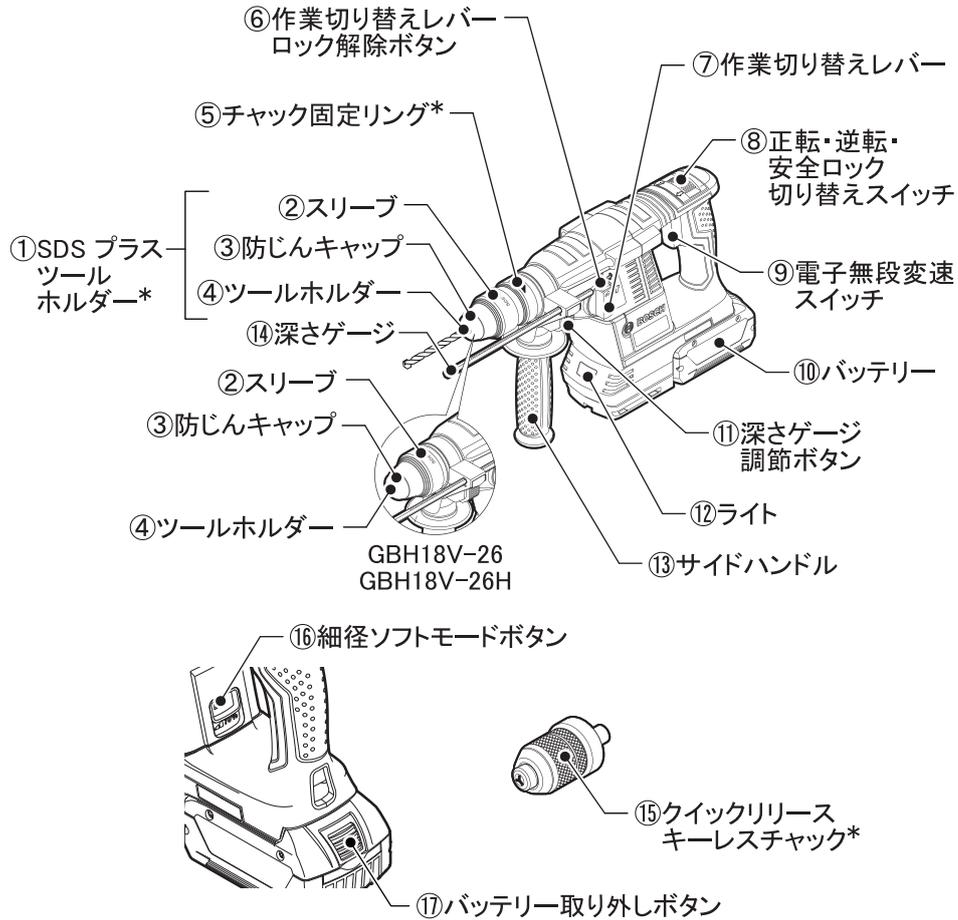
### 用 途

- ◆ コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ
- ◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ
- ◆ コンクリートや石材などの軽度の破つり（こわし、タイルはがし等）
- ◆ ネジの締め・緩め

☞ ライト⑩の灯りは、作業を行う個所を照らすもので、家庭用の部屋の照明には  
適しません。

本  
製  
品  
に  
つ  
い  
て

## 各部の名称



つ本  
製  
い  
品  
てに

\*GBH18V-26F/GBH18V-26FHのみ

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

## 仕様

### 本体

型番	GBH18V-26 GBH18V-26H	GBH18V-26F GBH18V-26FH
定格電圧	DC 18V	
消費電力(入力)	425 W	
回転数(無負荷時)	0~980 min <sup>-1</sup> (回転/分)	
打撃数(無負荷時)	0~4350 min <sup>-1</sup> (回/分)	
打撃力	2.6 J (EPTA プロシージャ 05/2015 に準拠)	
穴あけ能力(最大径)		
コンクリート		
SDSプラスビット使用時	26 mm	
コア使用時	68 mm	
鉄工	13 mm	
木工	30 mm	
サイドハンドル取り付け部径	50 mmφ	
質量(バッテリーを含む)	3.5 kg	3.6 kg
	(EPTA プロシージャ 01/2014 に準拠)	
充電可能温度範囲	0℃~+45℃	
使用/保管可能温度範囲	-20℃~+50℃*	
振動3軸合成値		
ハンマードリル時	13.0 m/s <sup>2</sup>	12.5 m/s <sup>2</sup>
破つり時	8.5 m/s <sup>2</sup>	9.0 m/s <sup>2</sup>
	(EN60745-2 規格に基づき測定)	
原産国	ドイツ	
* 0℃以下で使用した場合、実際の作業能力は上記値より低くなる場合があります。		
<b>リチウムイオンバッテリー</b>		
電圧	18 V	
容量	6.0 Ah	

本製品について

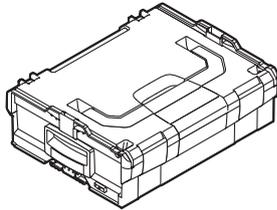
標準付属品



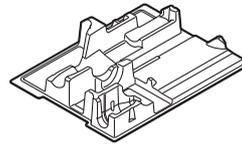
サイドハンドル



深さゲージ



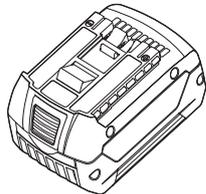
キャリングケース



L-BOXX インレイ

GBH18V-26/GBH18V-26F 型のみ

GBH18V-26/GBH18V-26F 型のみ



リチウムイオンバッテリー  
6.0 Ah (2個)



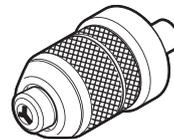
充電器  
(GAL1880CV)

GBH18V-26F/GBH18V-26FH 型のみ

GBH18V-26F/GBH18V-26FH 型のみ



SDSプラスツールホルダー



クイックリリースキーレスチャック

本  
製  
品  
に

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

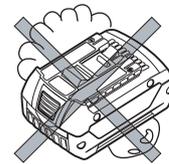
## 使い方

### バッテリー⑩を準備する

- ⚠ 注意** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が“安全ロック（中央）”の位置になっていることを確認してください。

### ● バッテリー⑩を点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



### ● バッテリー⑩を充電する

充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

 リチウムイオン電池は、電池寿命に関係なくいつでも充電が可能です。また充電の中断が電池にダメージを与えることはありません。

- ⚠ 警告** ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー⑩を充電してください。
- ◆ バッテリー⑩が熱くなっているときは、冷ましてから充電してください。
  - ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電器にバッテリー⑩を差し込みます。  
充電が始まります。  
(『充電器の取扱説明書』参照)



3. 充電が終わったら、バッテリー⑩を充電器から抜きます。

4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。

- ☞ 新品のバッテリー⑩や長期間使用していなかったバッテリー⑩は、バッテリー本来の能力を発揮させるために、1時間程充電してから使用してください。
- ☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリー⑩の寿命が尽きたと考えられます。  
新しいバッテリー⑩と交換してください。

## ● バッテリー⑩を取り付ける・取り外す

- ⚠ **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が“安全ロック（中央）”の位置になっていることを確認してください。

### 取り付け

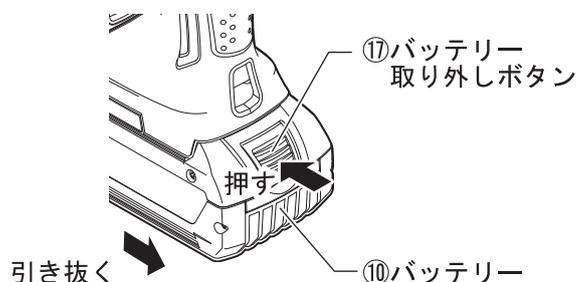
バッテリー⑩を、本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と音がするまで押し込みます。

- ☞ 本機は、「バッテリー取り外しボタン⑪」が押されただけではバッテリー⑩が外れないよう、バッテリー⑩の取り付けが二重ロックになっています。

- ⚠ **注意** ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

### 取り外し

「バッテリー取り外しボタン⑪」を押しながら、バッテリー⑩を引き抜きます。



## 作業前の準備をする

### ● サイドハンドル⑬を取り付ける・取り外す

 **警告** ◆ けがの発生を防ぐため、サイドハンドル⑬を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑩をハンマードリル本体から取り外してください。

 **注意** ◆ 取り付けるときは、スリーブ②に触れないよう、しっかりと奥まで差し込んでください。接触した状態で固定すると、スリーブ②が損傷します。

### 取り付け

1. サイドハンドル⑬のグリップ部分を矢印の方向に回して、締め付けバンドを緩めます。

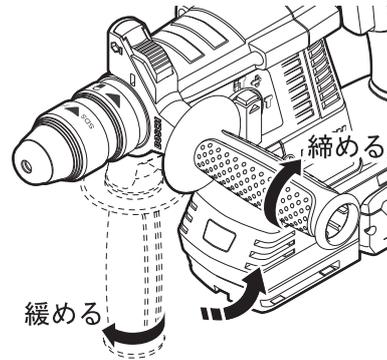
2. ハンマードリル本体にサイドハンドル⑬を差し込みます。

3. サイドハンドル⑬を回して、作業に適した位置に合わせます。

4. 締め付けバンドが、奥まではまっていることを確認します。

5. サイドハンドル⑬のグリップ部分を矢印の方向に回して、締め付けベルトをしっかりと締めます。  
この際、ガタつきがないか確認してください。

 作業に適した位置にサイドハンドル⑬を固定すると、作業中に安定した姿勢が取れ、疲労を減らすことができます。

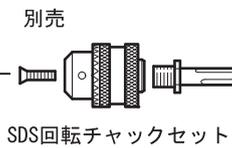
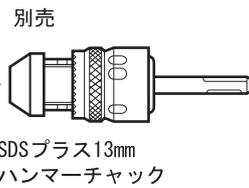
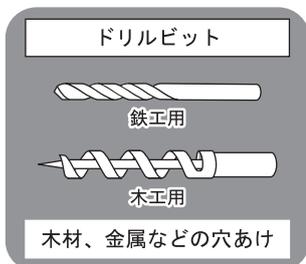
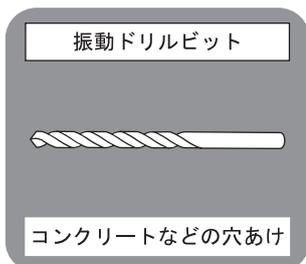


## ● 先端工具を選ぶ

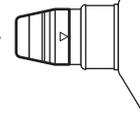
### SDSプラスシャンクの先端工具



### ストレートシャンクの先端工具



GBH18V-26F型  
GBH18V-26FH型



GBH18V-26F型  
GBH18V-26FH型

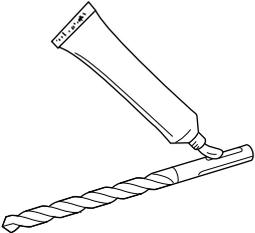


使  
い  
方

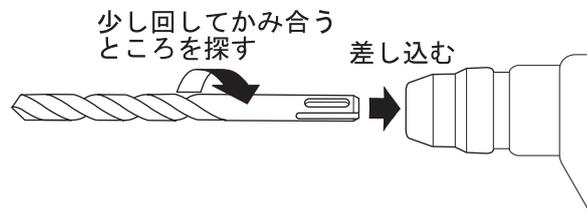
## ● SDS プラスシャンクの先端工具を取り付ける・取り外す

-  **警告** ◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑩をハンマードリル本体から取り外してください。
-  **注意** ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。
- ◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。
- ◆ 本体の故障を防ぐために、防じんキャップ③に異常がないか確認してください。損傷がある場合は交換が必要です。  
(「修理を依頼するときは」を参照してください)

### 取り付け

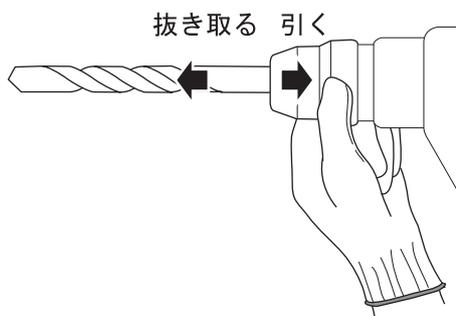
1. 先端工具の挿入部分を清掃し、グリスを塗ります。
- 
2. 先端工具を取り付け孔に差し込み、少し回してかみ合うところを探します。
  3. かみ合ったところで、さらに深く差し込み固定します。
  4. 確実に取り付けられたかどうか、先端工具を引っ張り、抜けないことで確認します。

使  
い  
方



## 取り外し

1. スリーブ②を後方へ引きながら、先端工具を抜き取ります。



## ● チャックを交換する (GBH18V-26F/GBH18V-26FH 型のみ)

SDSプラスツールホルダー①をクイックリリースキーレスチャック⑮に交換すると、SDSプラスシャンク以外の先端工具（市販のストレートシャンクのビットやドライバービットなど）が使用できます。



**警告**

- ◆ けがの発生を防ぐため、チャックを交換するときは、バッテリー⑩をハンマードリル本体から取り外してください。



**注意**

- ◆ けがをする恐れがありますので、SDSプラスツールホルダー①またはクイックリリースキーレスチャック⑮に取り付けてある先端工具を取り外してから、SDSプラスツールホルダー①またはクイックリリースキーレスチャック⑮を取り外してください。

使  
い  
方

## 取り外し

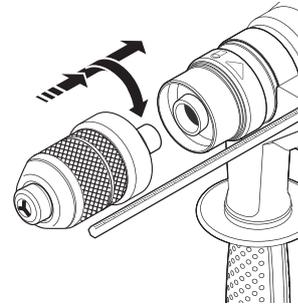
1. チャック固定リング⑮を a の方向にスライドさせたまま、SDSプラスツールホルダー①またはクイックリリースキーレスチャック⑮を引き抜きます。



## 取り付け

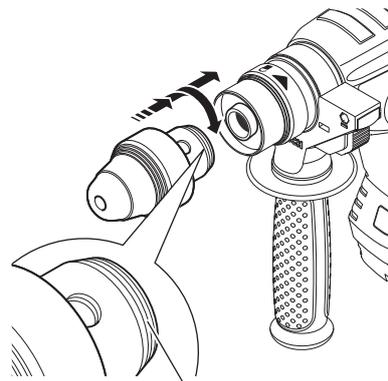
1. SDSプラスツールホルダー①またはクイックリリースキーレスチャック⑩をしっかりと保持し、カチッと音がするまでスピンドルに押し込みます。

☞ 少し回しながら押し込むと簡単に入ります。



2. SDSプラスツールホルダー①またはクイックリリースキーレスチャック⑩を引っ張り、確実に取り付けられていることを確認します。

☞ SDS プラスツールホルダー①を取り付けるときは、識別溝が2本または3本のもをご使用ください。



識別溝  
(2本または3本)

## ● クイックリリースキーレスチャック⑮に先端工具を取り付ける・取り外す



**警告**

◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑩をハンマードリル本体から取り外してください。



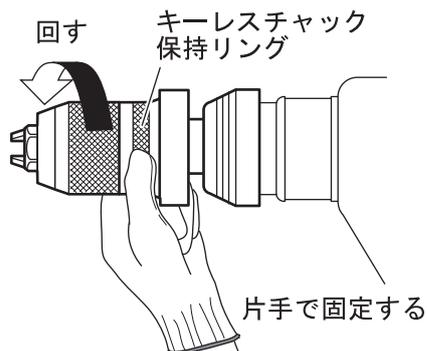
**注意**

◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。  
◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。

### 取り付け

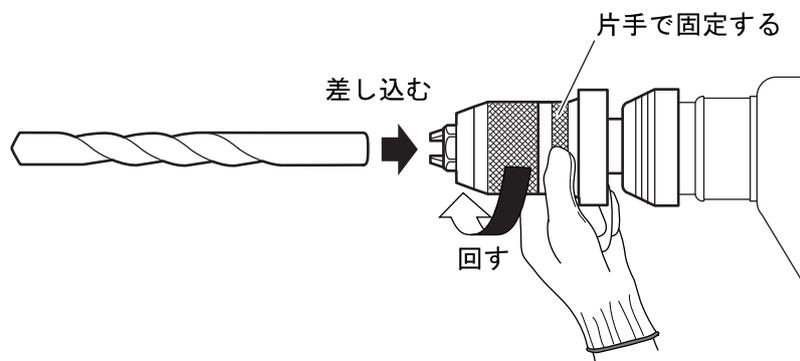
👉 クイックリリースキーレスチャック⑮は打撃が先端工具に伝わらない構造になっているため、振動ドリル用先端工具は使用できません。

1. クイックリリースキーレスチャック⑮のキーレスチャック保持リングを片手で固定しながら、前のリングを矢印の方向に回してチャックのつめを緩めます。



2. 先端工具をチャックに差し込みます。

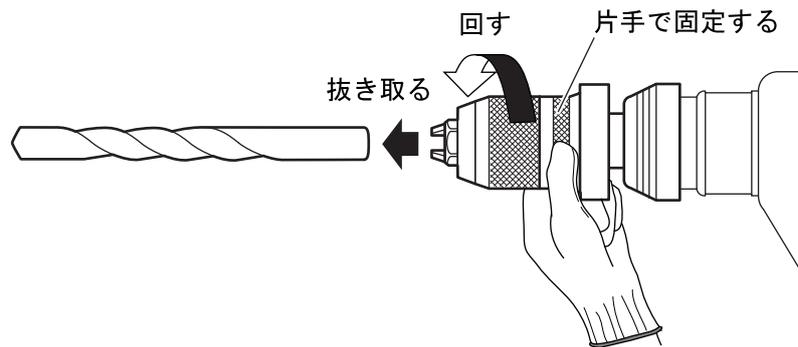
3. キーレスチャック保持リングを片手で固定しながら、前のリングを矢印の方向に回してチャックのつめを締めます。



使  
い  
方

## 取り外し

1. クイックリリースキーレスチャック<sup>⑮</sup>のキーレスチャック保持リングを片手で固定しながら、前のリングを矢印の方向に回してチャックのつめを緩めます。
2. チャックから先端工具を抜き取ります。



### ■別売アクセサリを使用する (SDSプラスツールホルダー装着時)

別売アクセサリのSDS13mmハンマーチャックまたは13mm固定チャック+SDS回転チャックアダプターを使用すると、市販のストレートシャンクの先端工具が使用できます。

別売アクセサリをハンマードリル本体へ取り付けるときは、SDSプラスシャンクの先端工具の取り付けと同様に行います。(28ページ参照)

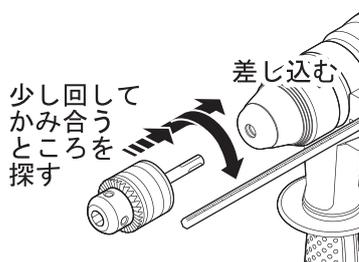
別売アクセサリの使用方法は、それぞれに付属する説明書をお読みください。

## ● SDS 回転チャックセット（別売）を取り付ける・取り外す

ストレートシャンクドリルの先端工具を使用するときは、別売アクセサリーのSDS回転チャックを取り付けてください。

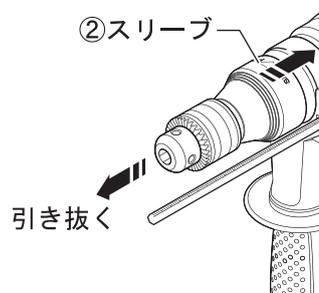
### 取り付け

1. キーチャックの挿入部分を清掃し、グリスを塗ります。
2. キーチャックを本体の取り付け孔に差し込み、少しかみ合うところを探します。
3. かみ合ったところで、さらに深く差し込みます。
4. 確実に取り付けられたか、キーチャックを引っ張り、抜けないことで確認します。



### 取り外し

1. スリーブ②を矢印の方向にスライドさせたまま、キーチャックを引き抜きます。

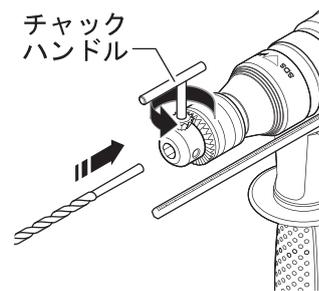


使  
い  
方

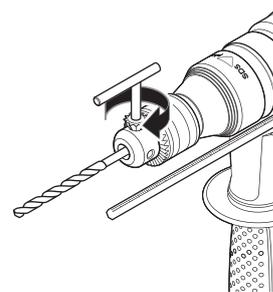
## ● キーチャックに先端工具を取り付ける・取り外す

### 取り付け

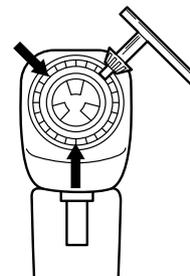
1. キーチャックが取り付けられているか、確認します。
2. チャックハンドルをキーチャック外周にある穴に差し込み、矢印の方向に回してチャックを緩めます。
3. 先端工具をチャックに差し込みます。



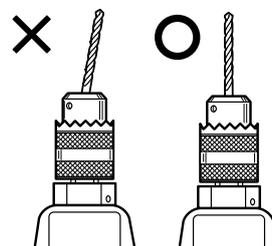
4. チャックハンドルをキーチャック外周にある穴に差し込み、チャックハンドルを矢印の方向に回して、チャックを締めます。



キーチャック外周にはチャックハンドルを差し込む穴が3つあります。3か所で均等に締めてください。3か所で締めないと、先端工具のつかみ具合が不十分になります。



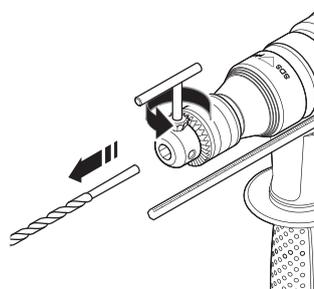
5. キーチャックのつめが先端工具を均等につかんでいることを確かめます。



使  
い  
方

## 取り外し

1. チャックハンドルをキーチャック外周にある穴に差し込み、チャックハンドルを矢印の方向に回してチャックを緩めます。
2. キーチャックから先端工具を抜き取ります。



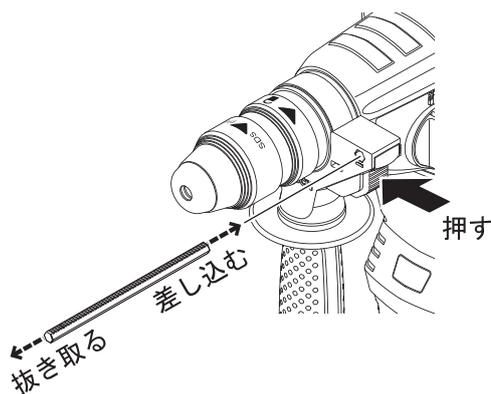
## ● 深さゲージを取り付ける・取り外す

### 取り付け（穴あけ作業時に役立つ）

1. 「深さゲージ調節ボタン①」を押しながら、深さゲージ⑭を差し込みます。
  - ☞ 深さゲージ⑭のギヤ部分をサイドハンドル⑬のグリップ方向（下向き）に合わせて取り付けてください。
  - ☞ 取り付け後、先端から押し込んで動かない事を確認してからご使用ください。

### 取り外し

1. 「深さゲージ調節ボタン①」を押しながら、深さゲージ⑭を抜き取ります。



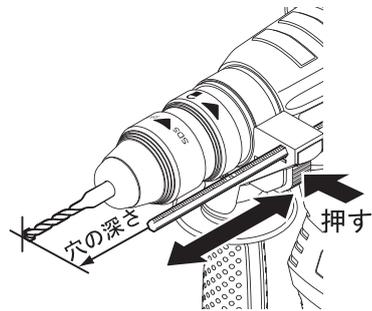
使  
い  
方

## 作業する

- 警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑩を取り付ける前に、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が“安全ロック（中央）”の位置になっていることを確認してください。

### 1 深さゲージを調節する（穴あけ作業時）

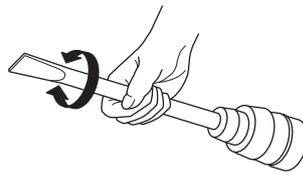
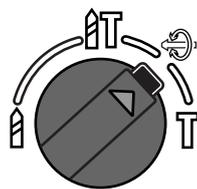
1. 「深さゲージ調節ボタン⑪」を押しながら、あけたい穴の深さに合わせて深さゲージ⑭を動かします。  
☞ ドリルビットをツールホルダーの後方に押し込んで、あそびのないことを確認してください。



2. 位置決めが終わったら、「深さゲージ調節ボタン⑪」から指を離します。

### 2 破つり用先端工具の作業位置をセットする（破つり作業時）

1. 「作業切り替えレバーロック解除ボタン⑥」を押しながら、「作業切り替えレバー⑦」を ☞ の位置に合わせます。
2. 先端工具を回転させ、作業する場所や向きに合わせます。  
「作業切り替えレバー⑦」を ☞ の位置にすると先端工具は固定されます。



使  
い  
方

### 3 ハンマードリル本体にバッテリー⑩を取り付ける

バッテリー⑩を、ハンマードリル本体のバッテリーの差し込み口に“カチッ”  
“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

 本機は、バッテリー⑩の取り付けが二重ロックになっています。

 **注意** ◆ 不意の脱落を防ぐため、バッテリー⑩が確実に固定されているか確認してください。

### 4 「作業切り替えレバー⑦」を作業に合わせた位置にしっかりと切り替える (38~39 ページのイラスト参照)

「作業切り替えレバーロック解除ボタン⑥」を押しながら「作業切り替えレバー⑦」を切り替えてください。

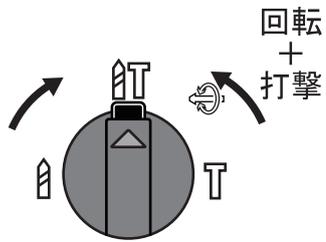
 “カチッ”と音がして、「作業切り替えレバー⑦」が正しくセットされたことを確認してください。

 **注意** ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「作業切り替えレバー⑦」を切り替えてください。  
「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込んでいるとき、「作業切り替えレバー⑦」は切り替えしないでください。

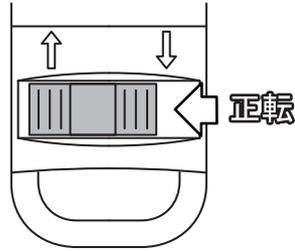
### 5 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を切り替える

 **注意** ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を切り替えてください。「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込んでいるとき、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」は切り替えしないでください。

コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ

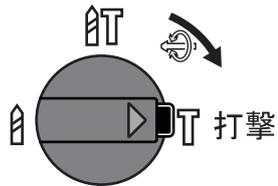


作業切り替えレバー

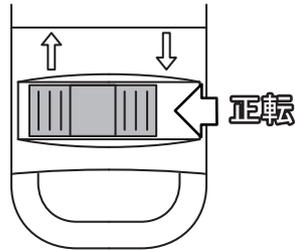


正転・逆転・安全ロック  
切り替えスイッチ

破つり



作業切り替えレバー

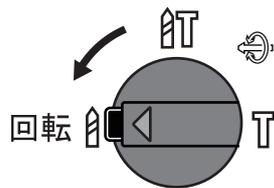


正転・逆転・安全ロック  
切り替えスイッチ

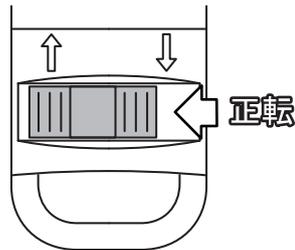
使  
い  
方

木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

ネジ締め

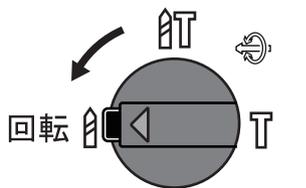


作業切り替えレバー

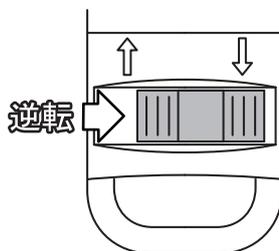


正転・逆転・安全ロック  
切り替えスイッチ

ネジ緩め



作業切り替えレバー



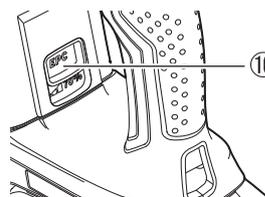
正転・逆転・安全ロック  
切り替えスイッチ

## ⑥ 「細径ソフトモードボタン⑯」を切り替える

本機には細径ソフトモード (EPC) がついております。

細径ソフトモード (EPC) を使用するとソフトスタートになり、最大打撃数も70%に抑えられます。

細径ビットの破損を抑えることができます。



⑯細径ソフトモードボタン



仕様に記載されている最大打撃数で作業できます。



ソフトスタートになり、最大打撃数も仕様に記載されている最大打撃数の70%に抑えられます

ふち欠けの起こりやすい材料 (タイルなど) や、細径ビットを使用した穴あけ作業時に、ビットの破損リスクを減らすために適したモードです。

使  
い  
方

## 7 「電子無段変速スイッチ⑨」を操作する

-  **警告** ◆ 作業中に振り回されないよう、ハンマードリル本体にサイドハンドル⑬を取り付けてください。両手で本体のグリップとサイドハンドル⑬をしっかり保持し、作業してください。
-  **注意** ◆ 作業時、ハンマードリル本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押しつけると、先端工具を傷めて作業効率下がったり、本体が故障したりします。
- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 長いネジを締めるときは、ドライバービットがネジから外れないように注意してください。
- ◆ 先端工具が材料に引っ掛かったり、斜めに進んだりすると、過負荷クラッチの働きにより回転が止まります。ハンマードリル本体の損傷を防ぐため、先端工具を引き抜く前に本体を先端工具から取り外してください。

 「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込むとライト⑫が点灯します。

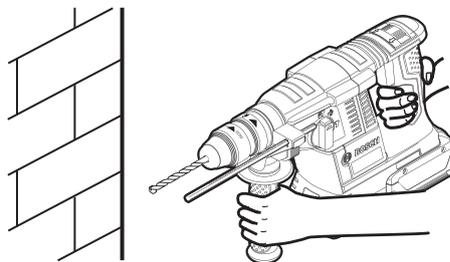
-  **注意** ◆ ライト⑫点灯中に、ライト⑫を直接のぞき込まないでください。一時的に視力に影響を及ぼす場合があります。

使  
い  
方

本機には、電子セル保護システム（ECP機能）がついております。本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。上記の状態が解消されると、再始動することができます。本体が自動的に停止したときは、「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込み続けないでください。引き込み続けると、故障の原因になります。

## 穴あけ

1. 先端工具を材料に当てます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込みます。



- ☞ 「電子無段変速スイッチ⑨」の引き込む加減で、回転数・打撃数が調節できます。
- ☞ 止めるときは、「電子無段変速スイッチ⑨」から指を離してください。ブレーキの働きにより、あけ過ぎを防ぎます。このとき、通風口内から火花が発生する場合がありますが、異常ではありません。

## ネジ締め

1. 先端工具をネジ頭の溝に合わせます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込みます。
  - ☞ 「電子無段変速スイッチ⑨」の引き込む加減で、回転数が調節できます。

## キックバック防止機能（ERC）

本機にはキックバック防止機能（ERC）がついております。  
内蔵された加速度センサーがキックバックの可能性を感知した場合、瞬時にモーターを停止し、キックバックを回避します。  
キックバック防止機能が働くと、ライト⑬が点灯します。  
一度「電子無段変速スイッチ⑨」から指を離し、再度「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込むと、再起動できます。

使  
い  
方

## 困ったときは

### 故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
「電子無段変速スイッチ⑨」を引き込んで、回らない	バッテリー⑩が取り付けられていない	バッテリー⑩を取り付ける
	バッテリー⑩が消耗している	バッテリー⑩を充電するか、交換する
	バッテリー⑩の温度が60℃を越えている	バッテリー⑩が最適温度範囲内に下がるまで待つか、交換する
「電子無段変速スイッチ⑨」が引き込めない	本機の温度が90℃を越えている	許容操作温度範囲内に下がるまで待つ
	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が“安全ロック”または、中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
穴あけなどに時間がかかる(穴があかない)	先端工具が摩耗している	先端工具を研磨するか、交換する
	バッテリー⑩が消耗している	バッテリー⑩を充電するか、交換する
	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が“逆転”の位置になっている	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“正転”の位置に切り替える
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑩の寿命が尽きた	バッテリー⑩を交換する

困ったときは

## 修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

### コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。  
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

### ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪 1464 番地 4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

### ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは

## お手入れと保管

コードレスハンマードリルを末永く、また安全にお使いいただくために作業前点検と作業後のお手入れをしていただき、保管していただくことをお勧めいたします。

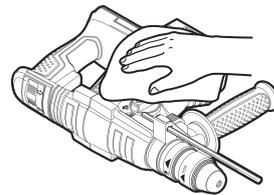
**警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑩をハンマードリル本体から取り外し、点検、お手入れしてください。

### 作業前点検

- SDSプラスツールホルダー①、クイックリリースキーレスチャック⑮が本体に確実に装着されているか？
- SDSプラスツールホルダー①、クイックリリースキーレスチャック⑮に先端工具が確実に装着されているか？
- 「電子無段変速スイッチ⑨」、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」は正常に作動するか？
- サイドハンドル⑬、深さゲージ⑭は、確実に取り付けられていて、ガタつきはないか？
- 防じんキャップ③が損傷していないか？
- バッテリー⑩が本体に確実に装着されているか？
- バッテリー⑩から液漏れが発生していないか、またバッテリー端子が傷んだり、汚れたりしていないか？

### 使用後のお手入れ

- 通風口やスリーブ②などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた布、柔らかい布で本体、バッテリー⑩の汚れをふき取る  
変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。
- 「バッテリー取り外しボタン⑰」やバッテリー装着部分についたゴミ、ホコリなどを吹き飛ばす
- ツールホルダー④の先端工具挿入部分を清掃する



## 保 管

### ● ハンマードリルを使った後は、バッテリー⑩を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリー⑩は50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。

